

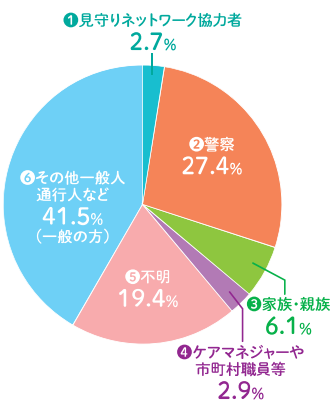
徘徊・見守りSOSネットワークへのご協力をお願いします。

徘徊・見守りSOSネットワークとは、地域における認知症への理解の促進を図るとともに、行方不明時に、ネットワーク登録者にメールやFAXで情報を配信し、早期発見に取り組むしくみのことです。

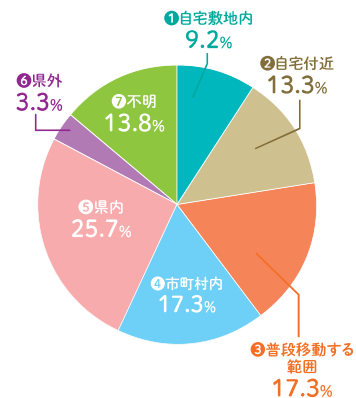
お住まいの市町村高齢福祉担当課にお問い合わせください。

参考資料

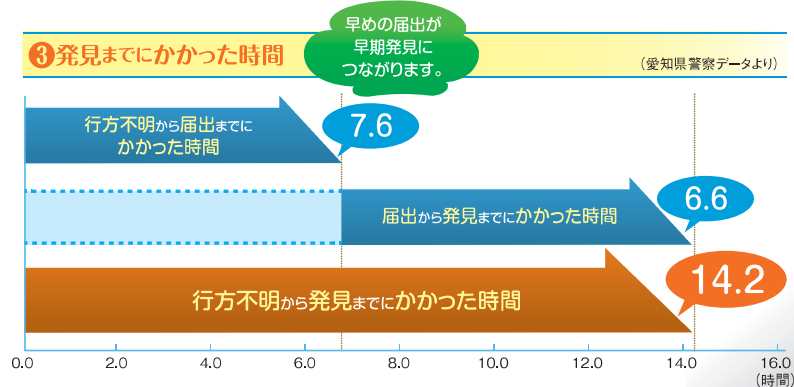
① 帰れなくなった高齢者を発見した人



② 帰れなくなった高齢者の発見場所



③ 発見までにかかった時間



愛知県健康福祉部高齢福祉課 TEL:052-954-6310

発行(2016.3)



国立研究開発法人
国立長寿医療研究センター

Q1 認知症ってどんな病気?

A 認知症は、脳の神経細胞が障害を受け、特に記憶障害(もの忘れ)や判断力、段取りなどが衰えていき、日常生活や社会生活に支障をきたす病気です。

もの忘れ(記憶障害)、日にちや場所が判らなくなる(見当識障害)、そして性格の変化(苛立ち、疑い、怒りなど)が複雑にそして頻回に出やすくなります。



Q2 認知症の人はどうして行方不明になるの?

A 認知症の症状の一つで、外出して自分がどこにいるのか、家がどこなのかわからなくなり、道に迷ってしまうことがあります(徘徊)。

行方不明になった本人は、混乱や動揺で、普段答えられることも答えられなかったり、道に迷っても自分から人に助けを求めたりできないこともあります。



Q3 認知症の方の外出や帰れない状態の方に何か特徴はありますか?

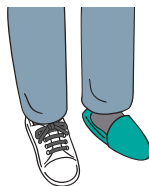
A 落ち着きがなく、困った様子がある。



A 季節に合わない洋服を着ている。



A 左右ちくはく靴を履いていることがある。



A 持ち物に名札が付いている。



Q4 見かけた場合は、どのように接するとよいですか?

A まず、本人を驚かさないようにやさしく声をかけましょう。

できるだけゆっくりと笑顔で

「どちらへ行こうとしていますか？」

「車が多いから気を付けてくださいね」

「お疲れのご様子ですが、大丈夫ですか？」 など。



連絡先が書いてあるもの身につけている場合は、連絡先に、わからない場合は、警察署に連絡してください。

長時間歩いて脱水になっている場合もありますので、水やお茶など飲み物をすすめてください。

Q5 認知症の人が行方不明になった時には、どうしたらいいの?

A 重要なことは「早期届出」、「早期捜索開始」です。

一刻も早い警察や自治体、徘徊・見守りSOSネットワークなどへの通報・届出が安心・安全の第一歩となります。

